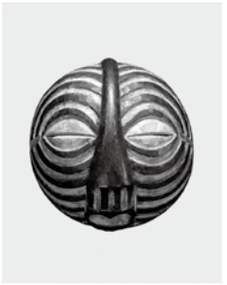
特別展
国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念
「イメージの力」
――国立民族学博物館コレクションにさぐる
人間の作り出したイメージのはたらきや受けとめられ方に、人類共通の普遍性があるのか否かをさぐります。

会期　9月11日(木)～12月9日(火)
会場　特別展示館


仮面「キフェベ」、民族／ルバ、国名／コンゴ民主共和国

■関連イベント
みんぱく×MBSラジオ Presents
「角淳一が迫る！ すみからすみまで『イメージの力』」
テレビやラジオでおなじみの角淳一さんが吉田憲司（本館 教授）とイメージの力に迫ります。司会は、アナウンサーの古川圭子さん。

日時　9月14日(日)14時20分～15時40分（13時30分開場）
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、先着順、参加無料

ワークショップ
「グリーンランドの彫像トゥピラクをつくろう」
紙粘土と竹べらでトゥピラクをつくります。

日時　9月7日(日)
13時30分～16時30分（13時受付開始）
会場　本館第3セミナー室、企画展示場
講師　田主誠（版画家）、岸上伸啓（本館 教授）
※要事前申込（先着順）、参加費500円（別途要展示観覧券）、小学1年生以上対象、定員15名
お問い合わせ先
情報企画課　電話　06・6878・8532

連続講座「台湾文化を知る」
日時　9月7日(日)14時～16時
講師　野林厚志（本館 教授）
話題　**「高砂族」と向き合った日本人研究者――鹿野忠雄と馬淵東一**

日時　9月13日(土)14時～16時
講師　宮岡真央子（福岡大学 准教授）
話題　**原住民族ツォウの社会と祭り**

日時　9月23日(火・祝)14時～16時
講師　野林厚志（本館 教授）
話題　**パイワン族工芸の伝統と今**

会場　本館第5セミナー室（定員80名）
※申込不要、先着順、参加無料

「民族藝術学会創設30周年記念大会公開シンポジウムII」
人間にとってのイメージの働き、その重要性を、学問分野を超えて、さまざまな角度から検証します。

日時　9月22日(月)13時30分～16時30分
会場　本館講堂（定員450名）
講師　小川勝（鳴門教育大学 教授）
　　齋藤亜矢（中部学院大学 准教授）
　　松本絵里子（神戸大学大学院 准教授）
　　吉田憲司（本館 教授）
※申込不要、先着順、参加無料

シンポジウム「南アフリカの過去と現在」
――ネルソン・マンデラから続く道
アパルトヘイトの廃止後、進行する国内の都市化に注目して、持続可能な資源利用や生き方について考えます。

日時　10月11日(土)
10時40分～13時25分　映画会
14時15分～16時30分　講演会
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、映画会は要展示観覧券

研究公演「りんけんバンドみんぱく公演」
沖縄の新しい音楽をうみだしているりんけんバンドと小学生の演舞がコラボレーションしたステージです。

日時　11月1日(土)13時～15時30分（開場12時30分）
会場　本館講堂（定員450名）
申込締切　10月14日(火)
※要事前申込、要展示観覧券

みんぱく創設40周年記念　カレッジシアター
「みんぱくの地球探究紀行」
研究者が撮影した世界各地の記録映像と研究者によるレクチャー。お弁当付き。

時間　11時～13時30分
会場　あべのハルカス近鉄本館「スペース9」
主催　産経新聞社
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団
※要事前申込（申込締切は各回開催日の1週間前）、参加費　各回3000円

9月10日(水)　三尾稔（本館 准教授）
インドの女神にささげる歌と踊り

9月17日(水)　寺田吉孝（本館 教授）
島々に響く青銅と竹の音――フィリピンの伝統音楽

9月24日(水)　川瀬慈（本館 助教）
精霊と人のコミュニケーション、ザール憑依儀礼（エチオピア）

お申込み・お問い合わせ
ウェーブ産経カレッジシアター係
電話　06・6633・9087

トークイベント「イメージの力」
音楽、デザイン、小説の各界で活躍するゲストがそれぞれのイメージの力に迫ります（全3回）。

日時　9月27日(土)13時30分～15時（開場12時30分）
第1回ゲスト　UA（歌手）
聞き手　川瀬慈、齋藤玲子（本館 助教）
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、先着順、参加無料

みんぱく×ナレッジキャピタル
「イメージの力」をさぐる
大阪・梅田のナレッジキャピタルで特別展と連動した連続講座を開催します。（全7回）

時間　19時～20時30分
会場　グランフロント大阪北館1F
　　ナレッジキャピタル The Lab.CAFE Lab

9月12日(金)
講師　吉田憲司（本館 教授）
話題　**みえない力をあやつる　仮面・神像・装身具**

9月24日(水)
講師　須藤健一（本館 館長）
話題　**みんぱく40周年と「イメージの力」**
※参加費500円（ドリンク代）、定員各回50名
お申込み・お問い合わせ
一般財団法人ナレッジキャピタル
電話　06・6372・6530

企画展
「未知なる大地　グリーンランドの自然と文化」
グリーンランドの自然、そこに住むイヌイットの人びとの歴史と文化を紹介します。

会期　9月4日(木)～11月18日(火)
会場　本館企画展示場

「トゥピラク像」高円宮コレクション／赤坂友昭撮影

みんぱくゼミナール

国立新美術館での「イメージの力」展の展示風景

第437回　10月18日(土)
【企画展関連】はるかなる北の大地、グリーンランドの自然と人びとの暮らし
講師　岸上伸啓（本館 教授）

第436回　9月20日(土)
【特別展関連】イメージの力――みんぱくのコレクションが語るもの
講師　吉田憲司（本館 教授）

人類はその歴史のなかできわめて多様なイメージを生み出してきました。果たしてそうしたイメージの創りあげ方や受けとり方に人類に共通の普遍性があるのでしょうか。国立新美術館での展示を経て、みんぱくで改めて開催される特別展「イメージの力」のなかに、その答えをさぐります。

みんぱくウィークエンド・サロン
研究者と話そう
時間　14時30分～15時30分
会場　本館ナビひろば
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

9月7日(日)
話者　岸上伸啓（本館 教授）
話題　【企画展関連】グリーンランドの自然と文化

9月28日(日)
話者　山中由里子（本館 准教授）
話題　【特別展関連】絵解きの時

●展示ガイド更新のお知らせ
2014年3月に新しくなった東アジア展示ガイド更新版が完成しました。展示ガイド（バインダー形式）をお持ちの方には、無料で差し替え分をお渡しします。ミュージアム・ショップにお申し出ください。

●無料観覧日のお知らせ
9月13日(土)と9月15日(月・祝)は、本館展示と特別展を無料で観覧いただけます。ただし15日は、自然文化園（有料区域）を通行される場合、入園料が必要です。

●南アジア・東南アジア展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、南アジア・東南アジア展示場が11月6日(木)から3月18日(水)まで閉鎖されます。閉鎖前に是非ご来館ください。

※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時（土日祝を除く）です。

刊行物紹介

■東賢太朗・市野澤潤平・木村周平・飯田卓 編
『リスクの人類学――不確実な世界を生きる』
世界思想社　4,000円（税抜）

リスクが技術・制度として浸透し、個々人がリスク・コンシャスな主体として立ち上がる「リスク社会」。本書は、そのメカニズムを人類学の立場から批判的に考察し、オルタナティブを模索する新たな試みです。

■岸上伸啓 著
『イヌピアット写眞帳――バロー村の暮らし』
風土デザイン研究所　1,500円（税抜）

米国最北の村、アラスカ州バロー村を中心に2006年から2013年までのフィールドワークで撮った写真を通して、先住民イヌピアットの現在の様子を紹介します。

●東京講演会
会場　モンベル渋谷店5Fサロン
定員　60名（要事前申込）
※一般の方も参加可能です（参加費500円）

第110回　10月19日(日)14時～15時
多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業
講師　菅瀬晶子（本館 助教）
日本有数の多みんぞくの街、東京都新宿区の新大久保。韓流の街と思われがちですが、じつは多種多様な移民が混住しています。本講演では、新大久保が多みんぞくの街となった歴史を振り返るとともに、近年もっとも活気のある「イスラーム通り」に注目します。イスラームの教えに沿った食べ物であるハラールフード産業は、この街でいかにして花開いたのでしょうか。当日は、新大久保で売られているハラールフードのサンプルを、実際に手に取っていただくこともできます。
※講演会終了後、講師をまじえた1時間程度の懇談会を開催します。

●友の会講演会（大阪）
会場　本館第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

第436回　10月4日(土)14時～15時
【特別展「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにさぐる」関連】
アート（美術）と人類学のあいだ――特別展「イメージの力」によせて
講師　吉田憲司（本館 教授）
アートと人類学（民族学）。20世紀を通じて、それぞれ別の道筋をたどってきたこのふたつの領域が、近年、急速に接近し、交流をもち始めています。国立新美術館と民博の共同で企画した今回の特別展「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにさぐる」も、アートとアーティファクト、美術館と博物館、美術史学と人類学の壁を越えた試みのひとつです。今回の展示にちなんで、アートと人類学の関係を改めて考えます。
※講演会終了後、講師の案内のもと1時間程度の特別展見学会を開催します。

友の会

国立民族学博物館友の会　電話　06-6877-8893（9時～17時、土日祝を除く）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会講演会（大阪）
会場　本館第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

第436回　10月4日(土)14時～15時
【特別展「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにさぐる」関連】
アート（美術）と人類学のあいだ――特別展「イメージの力」によせて
講師　吉田憲司（本館 教授）
アートと人類学（民族学）。20世紀を通じて、それぞれ別の道筋をたどってきたこのふたつの領域が、近年、急速に接近し、交流をもち始めています。国立新美術館と民博の共同で企画した今回の特別展「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにさぐる」も、アートとアーティファクト、美術館と博物館、美術史学と人類学の壁を越えた試みのひとつです。今回の展示にちなんで、アートと人類学の関係を改めて考えます。
※講演会終了後、講師の案内のもと1時間程度の特別展見学会を開催します。

東京講演会
会場　モンベル渋谷店5Fサロン
定員　60名（要事前申込）
※一般の方も参加可能です（参加費500円）

第110回　10月19日(日)14時～15時
多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業
講師　菅瀬晶子（本館 助教）
日本有数の多みんぞくの街、東京都新宿区の新大久保。韓流の街と思われがちですが、じつは多種多様な移民が混住しています。本講演では、新大久保が多みんぞくの街となった歴史を振り返るとともに、近年もっとも活気のある「イスラーム通り」に注目します。イスラームの教えに沿った食べ物であるハラールフード産業は、この街でいかにして花開いたのでしょうか。当日は、新大久保で売られているハラールフードのサンプルを、実際に手に取っていただくこともできます。
※講演会終了後、講師をまじえた1時間程度の懇談会を開催します。

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。